

2018（平成30）年度 事業実績報告書

2018（平成30）年4月1日から2019（平成31）年3月31日まで

特定非営利活動法人 おきなわCAPセンター

1 事業の成果

2018年度は、提供事業、学習啓発事業、ネットワーク事業を通じて子ども支援に携わる団体や関係機関との連携をさらに深めることができた年となった。提供事業としては、思春期向けプログラムが市町村において定着し、那覇市、宜野湾市、うるま市、北中城村で継続して実施している。宜野湾市、北中城村においては、小学生向けプログラムも継続実施することもできた。また、沖縄県からの受託事業である子どもの虐待防止のための講演会・研修会および児童養護施設職員向けの研修会は7年目となり、県内での子ども虐待防止および社会的養護の子ども支援に向けた意識・啓発を一層浸透させることができた。新規事業として沖縄県より、児童虐待対応職員等法定義務研修を受託し、更なる発展の1年となった。

(1) 子どもへのCAPワークショップ（暴力防止プログラム）等提供事業

54回のワークショップ提供

2018年度は、子どもワークショップ54回提供することができ、特に市町村との協働で行う事業は着実に継続できている。7年目の北中城村（児童虐待防止緊急対応強化事業）、5年目の宜野湾市（子どもへの暴力防止事業）の受託も順調に継続されている。宜野湾市においては市内の約半数である5小学校（各校1学年ずつ）子どもワークショップを実施することができた。その他、就学前向け「安全講話」も、うるま市から依頼を受けて実施。また、行政だけではなく、学童からも独自の依頼を受けて、実施することができた。

デートDVの予防・啓発の取り組み

思春期の人間関係づくりを考える中高生向け「思春期の心と体プログラム」が年々広がり続け、2018年度は32回実施することができた。デートDV防止の取り組みとして、那覇市（「思春期の心と体」のための意識啓発事業）では、市内全17中学校、宜野湾市（「デートDV予防啓発出前講座」）においても市内全4中学校にて実施。同プログラムを通して、思春期の子どもが「自分の心と体を大切に」視点と、デートDVについての情報と相談機関を伝えることができた。那覇市、宜野湾市、うるま市、北中城村においては、学校現場での定着と、放課後タイムでの子どもたちの反応から、手ごたえを大いに感じている。そのほか、児童養護施設2か所でも継続して同プログラムを中高生向けに実施することができた。中学校としては、私立1校を含め30校、5000人を超える中学生にCAPの考えをベースにつくられた思春期プログラムを届けることができた。また、昨年度同様に「Weぷらんにんぐ」からも

依頼を受け、浦添市内の全中学校（5校）へもCAPメンバーを派遣し、同プログラムを実施することができた。

(2) おとなへのCAPワークショップ（暴力防止プログラム）等提供事業

25回のワークショップ提供

2018年度は、おとなワークショップを、幼稚園、小学校、市町村、児童養護施設、学童クラブ等、合わせて25回提供することができた。宜野湾市においては、教職員ワークショップを2回（市内小学校教職員向け、志真志小教職員研修）実施。単独の申し込みも多く、県内各地域でおとなワークショップを実施することができた。

その他、教育実習生となる大学生向け「安全講話（副題：生徒の安全を守る）」も高評価を得て継続されている。

児童養護施設等へのワークショップ

沖縄県から「児童養護施設職員等資質向上支援事業」の受託を受け職員向けの研修を実施。7年目となる今年度は、「STOP いじめ～いじめについて考え対応するワークショップ」プログラムを開発し、子ども達の間で起こるかもしれない暴力について、まずは支援者自身の認識の違いに気づき、発見時の具体的な対応方法について情報提供した。全職員が同じ研修を受講し、共通認識で支援できるよう時間帯や開催日をずらして、1施設あたり2回に分けて実施した。また、児童養護施設の他児童自立支援施設・若夏学院でも継続し、更に今年度より開設した児童心理治療施設ノアーズガーデンでも実施することが出来た。両施設においては「子どももおとなも安心・自信・自由を～ストレングスカードを使った強み発見ワークショップ～」を実施し職員同士の強みを発見しエンパワメントすることを目的とした。

(3) ワークショップ提供のための人材育成事業

県内外への研修派遣

県内で行われた各種研修会、講演会へメンバーを派遣。それぞれがスキルアップに努め、ワークショップを実施する際の内容に取り入れることもできた。また、県外研修については、NPO 法人女性の安全と健康のための支援教育センターの研修会への派遣の他、沖縄県子ども虐待防止推進事業の一環として、岡山県で開催された日本子ども虐待防止学会にも職員を派遣することができた。

定例会・練習会

定例会、練習会はメンバーの資質向上だけでなく、練習会等として活用。練習会については、ワークショップ開催前などその都度、必要に応じて実施し、新規メンバーの活躍の場の提供につなげた。またおとなワークショップの内容やプログラム検討会議を随時開いた。親睦を深めチームワークを強化できる機会ともなった。

(4) 子どもへの暴力防止についての学習・啓発事業

子ども虐待防止推進事業

沖縄県からの受託事業による7年目となる本事業では、広く県民に子ども虐待問題について周知することに努め、7市町村8か所で講演会や講座を企画、運営を行った。内容だけではなく、運営についても周囲から高い評価を得ることができた。講師は、にんしんSOS東京代表・中島かおりさん、育児情報誌miku編集長・高祖常子さん、NPO法人レジリエンス代表・中島幸子さん、エンパワメントセンター主宰・森田ゆりさん、沖縄国際大学講師・野村れいかさんを招聘し開催した。野村れいかさんの講演会については、事業当初実施の予定はなかったが、他事業で交流のある市内の児童養護施設職員より、地域の中で発達障害に関する理解を広げたいとの要望を受けて実施することができた。また、本事業としてCAPおとなワークショップも恩納村にて開催することができた。

(5) 地域ネットワーク事業

行政、民間団体とのネットワーク強化

地域ネットワーク事業は例年通り、副代表および事務局が「沖縄県子ども子育て会議」、「那覇市要保護児童対策協議会代表者会議及び実務者会議」、「那覇市子ども政策審議会」「那覇市子ども政策審議会指定管理者選定部会」など各種会議に出席し、子どもを支援する関係機関との連携を図った。その他新規の会議として「沖縄県子どもの未来県民会議」の委員となり、事務局長を派遣。また、以前より参加していた「九州・沖縄子どもネットワーク会議」では、実行委員会議の他、イベント当日は運営にも積極的に参加し、おきなわCAPセンターの広報活動および他団体との連携も行った。

インターンシップ、フィールドワーク等の受け入れ

那覇看護専門学校からインターンを受け入れ、学生たちにCAPの活動内容や子どもへの虐待防止等について説明をする他、つうしんや虐待防止講演会の広報発送作業、おとなワークショップ等に参加してもらい、子どもの人権と暴力防止について伝えた。他にも、ぐしかわ看護専門学校の学生をフィールドワークで受け入れた。将来、医療現場に携わる学生たちへエンパワメントの考え方、支援の在り方、CAPの理念と活動を伝えることができた。

児童養護施設職員等資質向上支援事業

CAPワークショップ提供（詳細は提供事業に記載）の他、外部講師を起用し支援ケースについて検討する、SV（スーパーヴァイズ）研修を実施した。講師には前年度も起用した砂川純子さんを、本事業の外部アドバイザーとして、全施設に派遣し、

事業に関する意見交換等も行った。その他の講師としては、名護療育医療センター付属育ちのクリニック院長勝連啓介さん、新規講師としては沖縄国際大学講師の野村れいかさんを起用し実施した。臨床経験を元に支援方法を提示することは、参加者にも非常にわかりやすく、好評であった。また、昨年度も大変好評であった施設側のニーズに応え性教育に関する情報提供を行うため、リアライズYOKOHAMAの橋本明子さんを迎え、施設職員だけではなく子どもたち向けにも性教育の講話を開催。さらには、思春期・青年期理解と支援を目的とし、宇部フロンティア大学臨床教授の小栗正幸さんをお招きした研修会も開催し、より専門性を高める情報提供を行うことができた。

児童虐待対応職員等法定義務研修

今年度新規事業として沖縄県より受託し実施。本事業では、主に市町村の要保護児童対策地域協議会の運営を行っている市町村職員を対象とした「要保護児童対策調整機関専門職研修（以降：要対協研修）」および児童相談所の職員を対象とした「児童福祉司任用後研修」を実施した。要対協研修の講師には、県内講師として元県職員の砂川純子さん、佐和田ゆかりさん、沖縄大学教授・山野良一さん、琉球大学准教授・城間園子さん、沖縄国際大学講師・野村れいかさん、沖縄県中央児童相談所所長・前川英伸さんを招聘して行った。県外講師には、日本大学准教授・鈴木秀洋さん、武蔵野大学教授・中板育美さんを招聘した。任用後研修においては、県内講師として元県職員の砂川恵正さん、児童養護施設協議会会長・玉城孝さん、県内2児童相談所嘱託弁護士、仲地宗哲さん、松山清一郎さんを招聘した。県外講師としては、他事業で起用した小栗正幸さんの研修会に本研修会を合同で実施した。合同実施については、県外講師である西南学院大学教授・安部計彦さん、子どもの虹情報研修センター研修部長・川松亮さんを招聘した研修会も行い、要対協研修及び任用後研修を合同で実施することにより、相互交流の場を提供することにもつながった。

ご入学おめでとう大会への講師派遣等

沖縄タイムス社主催の「ご入学おめでとう大会」（那覇市、うるま市、名護市全3回）へメンバーを派遣して新1年生とその保護者へ「自分を大切にする」というテーマで講話した。新しい環境に入る前の不安な気持ちを和らげるとともに、子どもの気持ちを受けとめ、話を聴くことの大切さを伝えた。

(6) 会報等の発行事業

活動の報告を兼ねた『CAP つうしん』つうしんを2回（7月と1月）発行し、会員と関係機関へ届けた。また、インターネットを活用して、ホームページとフェイスブック、事務局長ブログを随時更新し、講座や講演会、ワークショップの案内や報

告を行うなどの情報発信に努めた。

そのほかメディア：マスコミ等への対応

機関紙『けし風』へ、子ども支援に関する原稿を寄稿した他、自治問題に関する話題に対し、取材依頼があった際には、適宜対応を行った。

- (7) その他、目的を達成するために必要な事業
なし

特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施場所	従事者数 (人)	受益対象者 (人)	支出額 (千円)
子どもへのCAPワークショップ (暴力防止プログラム) 提供事業	小学生ワークショップ	42回 @宜野湾市：5校 宜野湾小(1年)、はごろも小(2年)、 長田小(2年)、大山小(2年)、志真志小(6年) @北中城村：2校 島袋小(2年)、北中城小(2年・3年・ 5年・6年) @八重瀬町：1校 白川小(6年)	128	1324	5,486
	就学前ワークショップ	3回 相愛幼稚園、童夢認定こども園	25	199	
	中学生ワークショップ	—	0	0	
	スペシャルニーズプログラム	—	0	0	
	その他(施設、学童等)	9回 @児童養護施設：2か所 美さと児童園(就学前・小学生)、愛隣園(就学前・小学生) @学童：3か所 ひだまり学童CLUB(高学年)、牧港学童クラブ(低学年・高学年)、シビックセンター学童クラブ(高学年)	57	315	

	思春期プログラム	32回 @那覇市立中学校：17校全1年 （石田、石嶺、上山、小禄、金城、神原、鏡原、古蔵、首里、城北、仲井間、那覇、松島、松城、真和志、安岡、寄宮） @宜野湾市立中学校4校 （嘉数1年、宜野湾3年、普天間3年、真志喜3年） @北中城村立中学校：1校 （北中城1年・2年） @うるま市立中学校6校 （あげな2年、石川1年、伊波2年、具志川1年、高江洲1年、与勝第二1年） @私立中学校：1校 （沖縄尚学（1年）） @児童養護施設：2か所 （美さと児童園、愛隣園）	64	5940	
	安全講話	1回 宮森幼稚園	2	60	
おとなへのCAPワークショップ提供事業	おとなワークショップ （保育所、幼稚園、学校）	9回 @保育園：1か所（童夢認定こども園） @幼稚園：1か所（相愛） @学校：7校 宜野湾市立小学校4校（大山、宜野湾、長田、はごろも） 北中城村立小学校：2校（北中城、島袋）、 八重瀬町立小学校：1校（白川）	18	242	
	教職員ワークショップ	2回 宜野湾市立志真志小学校、宜野湾市市民協働推進課（小学校教職員）	7	58	
	その他連携機関、大学、児童養護施設等	14回 ・連携機関：9か所 （里親会×2回、北部病院、なは女性センター、名護市子育て支援課、嘉手納町こども家庭課、北中城村児童家庭課、宜野湾市児童家庭課、八重瀬町生涯学習課、八重瀬町役場） ・大学：1か所（沖縄国際大学） ・学童：3か所 （ひだまり学童CLUB、牧港学童クラブ、シビックセンター学童クラブ）	26	302	
	主催ワークショップ	—			
	本の販売	3回			
人材育成事業	研修派遣	適宜	145	0	86
	研修派遣	県外 2回 女性の安全と健康のための支援教育センター（7月・上野） 日本子ども虐待防止学会（11月・上野）		2	

	内部研修	10回 CCJスキルアップ研修、子どもワーク向上委員会、おとなワーク向上委員会		68	
	定例会	8回		63	
子どもへの暴力防止についての学習啓発事業	公開講座	0回			5,263
	沖縄県子ども虐待防止推進事業	8回 ・中島かおり講演会@沖縄市 ・高祖常子講演会@名護市、うるま市 ・中島幸子講演会@石垣市、宮古島市 ・森田ゆり講演会@那覇市 ・野村れいか講演会@宮古島市 ・CAPワークショップ（恩納村）	40	835	
地域ネットワーク事業	地域ネットワーク会議	20回 ・那覇市要保護児童対策地域協議会代表者会議及び実務者会議（宮国3回） ・那覇市子ども政策審議会 児童館等指定管理選定部会（中村2回） ・沖縄県私立保育園連盟那覇ブロック園内研究発表大会（中村1回） ・公私連携幼保連携型認定こども園/候補者選定部会（中村1回） ・グッピー保育園評議員会（中村1回） ・沖縄子ども未来県民会議（上野1回） ・沖縄県子ども・子育て会議（上野1回） ・九州・沖縄地区 子ども支援ネットワーク 交流学習会（上野9回） ・なは女性センター会議（事務局1回）	29	—	5,674
	インターン受け入れ	4回 ・那覇看護専門学校（3回） ・ぐしかわ看護専門学校フィールドワーク		26	
	児童養護施設職員等資質向上支援事業	49回 ・県内10児童養護施設等に講師を派遣し、スーパーヴァイズ研修のコーディネーター ・性の健康教育（橋本明子） ・思春期青年期理解（小栗正幸） ・SV研修（砂川純子、勝連啓介、野村れいか） ・CAPワークショップ（CAPスペシャリスト）	74	643	
	児童虐待対応職員等法定義務研修	39回 ・要対協研修（全19コマ） 9月開催：佐和田ゆかり 10月開催：城間園子、野村れいか、中板育美、砂川純子、鈴木秀洋、山野良一、前川英伸 ・任用後研修（全20コマ） 2月開催：小栗正幸、砂川恵正、玉城孝、仲地宗哲、松山清一郎 ・要対協&任用後研修 合同開催 9月開催：安部計彦 10月開催：川松亮	326	1388	

	その他	5～11月 WeぶらんにんぐデートDV 防止講座協力（浦添市5中学校） 1～3月 タイムス入学おめでとう大会 （名護市、うるま市、那覇市）	15	2000	
会報等の 発行事業	会報の発行	年2回	2	600	54
	ホームページ	5回 随時 事務所	2		
	その他メディア	『けーし風』連載（適宜） マスコミ対応（適宜）	3		
その他、 目的を達成 するために必要 な事業	なし				

※上記事業のほか、総会1回、理事会2回 事務局会議2回、労務・税務など。